

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
多発性骨髄腫 DaraVMP療法 (C2-9)		42日	■なし □あり
投与日	薬品名 (※赤字は抗がん薬)		
d1,22	① ソル・コーテフ注射用200mg+生理食塩水50mL ② 生理食塩水「ヒカリ」50ml(フラッシュ用) ③ <b>ダラザレックス点滴静注</b> 16mg/kg +生理食塩水 * 投与1時間前までに、カロナール400mg,d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg、レナデックス20mgを内服する。問題なければ15分前まで短縮可。 0.2 μ mのインラインフィルターを使用する。 ④ 生理食塩水「ヒカリ」50ml(フラッシュ用) ⑤ <b>ベルケイド注射用</b> 1.3mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 0.52mL/m <sup>2</sup> ベルケイド1Vを生食1.2mLで溶解。 生食溶解後の濃度は2.5mg/mL。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、投与部位をローテーションする。 (右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など)		
d8,29	① <b>ベルケイド注射用</b> 1.3mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 0.52mL/m <sup>2</sup> ベルケイド1Vを生食1.2mLで溶解。 生食溶解後の濃度は2.5mg/mL。 投与の際は、同一コース内での同じ部位への皮下注射は避け、投与部位をローテーションする。 (右腹部→左腹部→右上腕→左上腕→右大腿→左大腿など)		
d1,22	カロナール400mg+d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg+レナデックス20mg ダラザレックス投与1時間前までに内服。問題なければ15分前まで短縮可		
d1,2,3,4	<b>アルケラン</b> 9mg/m <sup>2</sup> 1日1回		
d2,3,4	プレドニン60mg/m <sup>2</sup> 1日1回		
	* ダラザレックスの希釈・投与速度について; 生理食塩液を用いて希釈後の総量を500mLとし、100mL/時の投与速度で点滴静注を開始。Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら投与速度を以下のように変更することができる。 ただし、投与速度の上限は200mL/時とする。  投与開始からの投与速度(mL/時) 0~1時間:100 1~2時間:150 2~3時間:200 3時間以降:200		
コメント	ダラザレックス投与1時間前までにレナデックス20mg+d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠6mg+カロナール400mg内服する。問題なければ15分前まで短縮可。 d1-4にアルケラン9mg/m <sup>2</sup> を内服、d2-4にプレドニン60mg/m <sup>2</sup> を内服する。		
プロトコールに関する解説			
プロトコールに関する解説はありません。			